

第18回市民フォーラム

子どもにやさしいまちづくり

「子どもの権利が大切にされる社会」

～ きこえていますか？子どもの声が ～

日時 2019年**12月1日**(日) 10:00～16:30

会場 福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ) 601 研修室ほか
(福岡市中央区荒戸3丁目3番 39号)

資料代 1,000円 (18歳未満・高校生無料)

主催 特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

協力 福岡市医師会・福岡県弁護士会パートナーシップ協議会
福岡市乳児院児童養護施設協議会、ファミリーシップふくおか、
福岡市里親会

後援 福岡県、福岡市、福岡県教育委員会

第18回市民フォーラム「子どもにやさしいまちづくり」 子どもの権利が大切にされる社会 ～ きこえていますか？子どもの声が～

今年は「子どもの権利条約」が国連で採択されて30年、日本での批准から25年目を迎えます。

子どもNPOセンター福岡では、子どもの権利条約の普及をめざして、子どもに関わるNPOや多くの市民、行政などと連携し、毎年市民フォーラムを重ねてきました。

しかし、貧困やいじめ、虐待など、困難を抱えた子どもたちは、家庭や学校、地域に数多くいます。2016年、児童福祉法が改正され、子どもが権利の主体であることが明確にされました。国の方針として「当事者である子どもの権利擁護の取り組み」が重要課題となり、「児童の意見表明権を保障する仕組み」の制度化に向け急速にうごきはじめています。福岡でも、子どもの側に立って、子どもの声を聴き、意見表明を支援する「子どもアドボケイト」の養成講座が始まりました。

今回のフォーラムでは「子どもの声を聴き社会に届けるために」とした基調講演をはじめ、分科会では、いろいろな分野の活動を通じてきこえる子どもの声に学びます。子どもの現状を知り、子どもが生きやすい環境を、参加者のみなさんとともにつくっていきましょう。

10:00～12:00

基調講演

「子どもの声を聴き社会に届けるために —制度から実践まで—」

ひとりの子どもを見捨てることは すべての子どもを見捨てること

講師：相澤 仁さん(大分大学福祉健康科学部 教授)



立教大学大学院文学研究科教育学専攻博士課程修了。
元国立武蔵野学院院長。厚生労働省社会的養育専門委員会委員。
現在、国の研究事業である「アドボケイト制度の構築に関する調査研究」の委員会の委員長として、日本でのガイドラインづくりに取り組んでいる。

子どもの声紹介

様々な現場できいた子どもたちの声を紹介します。

パネル展示

子どもにやさしいまちづくりひろばに参加する団体の活動を紹介します。

10:00～16:30

第1分科会 社会的養護の子どもアドボカシー

「子どもを孤立させない地域づくり」グループ

子どものため・子どもの最善の利益が強調されるがゆえに、子どもの声が聴こえなくなる局面に私たちは幾度となく立ち会ってきました。社会的養護の子どもである前に「今ここに生きるひとりの子ども」のはずです。現実の中で私たちができることが何か共に深めます。

コーディネーター: 田北 雅裕さん (九州大学大学院人間環境学研究院 専任講師、認定 NPO 法人 SOS 子どもの村 JAPAN 理事)

登壇者: 中村 みどりさん (CVV(Children's Views&Voices) 副代表)

瀬里 徳子さん (福岡市こども総合相談センターこども支援課 里親係長)

重永 侑紀さん (NPO 法人にじいる CAP 代表理事)

第2分科会 子どもが安心できる居場所とは?

～一人ひとりの子どもにおきあい、声を聴くために～ 「子どもの居場所づくり」グループ

子どもにとって行きたくなる場所、居たくなる場所になっているかを、子どもの立場に立って考えます。子どもの居場所のスタッフや、利用者の立場からの報告を聞き、どんな子どもも安心して、自分らしく過ごせる居場所になるために、一緒に考えましょう。子どもの居場所での実践報告と参加者の交流会を行います。

実践報告: NPO 法人いるか エリアマネージャー

NPO 法人 SFD21JAPAN 青年部

古賀市「星の子文庫」代表

第3分科会 こんな〇〇あったらいいなあ!?

「子どもと学校」グループ

2002年に国連子ども特別総会で、世界各国から集まった18歳未満の子どもたちが話し合っただけで発信した「私たちにふさわしい世界」の中に、「子どもが学ぶことが楽しいと感じるような学校環境」があります。学校がそんな素敵な場所になるには、どんなものがあったらいいのでしょうか?フィンランドやデンマーク、オランダなどの先進事例を踏まえて、グループワークで考えます。

コーディネーター: 上村 一隆さん (NPO 法人箱崎自由学舎えすべらんざ)

海外事例報告者: 長阿彌 幹生さん (教育文化研究所 代表)

第4分科会 乳幼児のアドボカシー ～生まれる前から赤ちゃんの声(願い)を受けとめて～

「子どもの育ちと環境」グループ

乳幼児は権利の主体であり、その声に耳を傾けることが必要です。(子どもの権利委員会一般的意見第7号: 2005年)。フィンランドのネウボラを参考に切れ目のない支援が取り組まれています。生まれる前からそして生まれてすぐから赤ちゃんの声に耳を傾け、育ちの環境を整えるアプローチについて共に考えましょう。

コーディネーター: 佐伯 美保さん (環境ネットワーク「虹」代表)

話題提供: 益永 孝子さん (にじいる助産院 代表)

瀧口 輝美さん (NPO 法人ふくつ子どもステーションすてっぷ 副代表理事)

第5分科会 大学生によるソーシャルアクション ～活動を通じて聴こえる子どもたちの声～

筑紫女学園大学 LYKKE (リッケ)

パープルエイド(若年女性への支援)、10代ママの居場所づくり(ママカフェ)、子ども食堂の活動事例の紹介を通して、子どもや子育てに関する社会的問題に対して、大学生自らが考え、行動する“ソーシャルアクション”からきこえてきた子どもの声について全体でシェアし考察します。

全体会

各分科会からの報告をきき、これから私たちがなすべきことを共有します。

●子どもにやさしいまち 福岡アピール 2019 の発表

<お申込み方法>

- 下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX(092-716-5095)、郵送またはメール(info@npoccf.jp / 件名:「第18回市民フォーラム申込」)で、事務局までお送りください。
- QRコード(左記)の申込フォームからお申込みいただけます。



<参加申込票> 第18回市民フォーラム「子どもにやさしいまちづくり」

ふりがな
●お名前 _____ ●ご所属 _____

●ご住所 _____

●TEL _____ ●E-mail _____

●参加を希望するプログラムに☑をお付けください

基調講演 「子どもの声を聴き社会に届けるために —制度から実践まで—」 <10:00~11:30>
ひとりの子どもを見捨てることは すべての子どもを見捨てること

テーマ別分科会 <13:00~15:30>

第1分科会 社会的養護の子どもアドボカシー 「子どもを孤立させない地域づくり」グループ

第2分科会 子どもが安心できる居場所とは?~一人ひとりの子どもにおきあい、声を聴くために~ 「子どもの居場所づくり」グループ

第3分科会 こんな〇〇あったらいいなあ!? 「子どもと学校」グループ

第4分科会 乳幼児のアドボカシー ~生まれる前から赤ちゃんの声(願い)を受けとめて~ 「子どもの育ちと環境」グループ

第5分科会 大学生によるソーシャルアクション~活動を通じて聴こえる子どもたちの声~ 筑紫女学園大学 LYKKE(リッケ)

全体会 <15:40~16:30>

●託児 ふりがな お名前 _____ 年齢 _____ ※託児無料(先着20名)

<会場付近地図>

福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)
(福岡市中央区荒戸3丁目3番39号)



- ▶福岡市営地下鉄「唐人町」駅 下車4番出口 徒歩5分
 - ▶西鉄バス「福大若葉高校前」下車 すぐ
「黒門」下車 徒歩5分
 - ▶駐車場 62台 (内12台は、障がい者専用駐車スペース)
- ※できるだけ公共交通機関をご利用ください。

<お申込み・お問合せ先>

特定非営利活動法人 NPO Center for children Fukuoka

子どもNPOセンター福岡

[住所] 810-0023 福岡市中央区警固1-15-34 警固セントラルビル401号

[TEL/FAX] 092-716-5095 【Mail】 info@npoccf.jp